

山口県立下関西高等学校

自然科学科化学班

日本冷却化大作戦 ～吸熱反応を用いた打ち水～

時間と費用をかけずに効果的に打ち水をする方法として、吸熱反応を用いた打ち水の探究を行った。風の影響が出ないように室内で打ち水を行った。地面から空気への熱の移動を再現するため、コンクリート板を屋外の実験時の表面温度になるように温め、1枚目はそのまま、2枚目は水のみ、3枚目は試薬と水をまき、断熱材で囲んで、表面温度と断熱材で囲まれた空間の温度の変化を調べた。



山口県立下関西高等学校

自然科学科物理班

太陽光パネル ～表面温度による発電効率への影響～

私たちは、特に再生可能エネルギーに興味・関心を持っていました。目標を「太陽光エネルギーを効率よく利用した電気自動車の模型の製作」に設定し、活動を開始しました。実験の結果、発電量最大時の中心温度が最適温度25℃に近くなることがわかりました。「パネル全体の温度を25℃付近で長時間維持させる装置を製作」することを次の目標として、今後も研究を進めていきたいと思っています。



四 国
7 団 体

徳島県立阿南光高等学校

緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトチーム

「考えよう 未来の地球のために 私たちができることを」

地球温暖化防止活動に取組み、今年で10年目を迎えます。河川や道路・公園等の維持管理で発生する「刈草」が植物廃材として多額の経費とともに焼却処分されてCO₂排出につながっていることに着目しました。「刈草」から資源循環型肥料「もったいない2号」を開発し、地方創生につながる地域雇用を創出、徳島県リサイクルエコ商品として循環型社会の構築に向けた啓発活動に取組んでいます。



徳島県立徳島商業高等学校

校内模擬会社COMCOM

未来へジャンプ 美波でジャンプ ～町・人・山・共生プロジェクト～

「まちおこしと山の保全活動」。私たちは、今年の2月に、森林協会・奥山トラストと連携ができ森林保全のシンポジウムを行う予定です。また、100年先の森を考えて森林保全を行っている奈良県の吉野町役場と連携し交流を始めました。このプロジェクトを過疎化に苦しむ全国のモデルケースとして広め、日本全国が笑顔のあふれる国にしたい。そんな思いを持ちこれからもこの活動を進めていきます。



香川県立小豆島中央高等学校

自然科学部

絶滅危惧種デンジソウの保全活動

地域の生態系の保全をテーマに研究活動を行っています。特に力を入れているテーマが「絶滅危惧種のデンジソウの保全活動」です。デンジソウを保全するためには、特定の種だけでなく、多くの種が互いにバランスを取り合う多様性の高い湿地をつくる必要があります。地域の生態系はかけがえのない財産です。多様性の高い地域生態系を次の世代に残せるように研究活動を行っていききたいと思います。



香川県立多度津高等学校

建築科&写真部

地域とともに歩む環境活動 ～今年度も継続!地球の未来を考えた取り組み～

私たち建築科と写真部は、地域との交流を積極的に行い活動の幅を広げています。【かまぼこ板ものづくり】廃棄されるかまぼこ板を利用。【地元の資源を生かす缶詰】6次産業化に発展し、商品化に向けて動いています。【グリーンカーテン環境活動】校内にテーマを決めて設置。涼しさだけでなく、花の癒しや食材に満たされています。【古民家の利活用】高校生らしい発想が地元の活力を生んでいます。



愛媛県立宇和島水産高等学校

水産増殖科

未来へつなげ 豊かな海 ～海洋ゴミを減らしたい～

SDGsの「目標4 質の高い教育をみんなに」及び「目標14 海の豊かさを守ろう」の達成のために、海洋ゴミに着目し取組を実施した。宇和海の「海洋ゴミの実態調査」と「マイクロプラスチック調査」を行い、海洋環境の現状をイベントや小学校への出前授業を通して地域の方々や子供たちへ伝え、ゴミを減らす対策の情報発信を行った。豊かな海を未来へつなげるためにも今後も行っていきます。



愛媛県立長浜高等学校

水族館部

日本初の高校内水族館「長高水族館」プロジェクト

長高水族館は、水族館部の生徒が運営する日本初の高校内水族館です。現在、約150種2,000点を飼育しています。公開日には、水族館部の生徒が展示水槽の解説をします。また、町内の活魚店や飲食店などの水槽を水族館に見立てた「長浜まちなみ水族館」が開館し、長高水族館を起点に来館者は町を回遊します。この取組を、町のシンボルであった長浜水族館の復活につなげたいと考えています。



高知県立伊野商業高等学校

商業技術部 土佐和紙研究会

夢はいの町の土佐和紙から! ～土佐和紙を地元へ!日本へ!世界へ!～

日本の伝統工芸「和紙」が世界遺産に登録されましたが、「土佐和紙」は含まれていませんでした。土佐和紙だからこそ表現できる、温かい感触や見た目の優しさ、光を通して見える美しさがあります。もっと身の回りのものに使用し活かされるべき素材です。『環境を破壊することなく、自然豊かな高知を守ってほしい!』、『土佐和紙が多くの人の生活の中で愛される紙になってほしい!』と願っています。

